

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

平成30年度 第1回 定期総会議事録

日時：平成30年5月27日（日）13：20～14：25

場所：琉球大学医学部臨床講義棟2階大講義室

司会：安里光宏理事（中頭病院）

司会により議長団を募ったが希望者がおらず、下記の理事会案が提示されその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認し総会を開始した。

<総会役員>

議長：松田英世氏（豊見城中央病院）、栗國徳幸氏（浦添総合病院）

資格審査委員：斎藤辰好理事（ハートライフ病院）

議事運営委員：小田部守生理事（中部地区医師会成人病検診センター）

書記：山内恵理事（琉球大学医学部附属病院）、古見美也子理事（那覇西クリニック）

開会の挨拶：手登根副会長

皆様お疲れ様です。日曜日のお忙しい中、多数集まりいただきありがとうございます。本日の学会への参加が、現地点で会員が310名余り、賛助会員もかなり参加され、ランチョンセミナー4つと例年よりも内容もかなり拡大されています。今日の総会は盛沢山なので、スムーズな進行をお願いしたいと思います。では、これより平成30年度の第1回の総会を開催したいと思います。

資格審査委員・議事運営委員報告

資格審査：斎藤理事

平成30年5月現在の会員数は835名。本日の総会出席者数150名、委任状424名、合計で総会構成会員数574名により過半数に達しましたので、本総会が成立することを宣言致します。

議事運営：小田部理事

議事日程を報告させていただきます。第1号議案、第2号議案をまとめて20分、質疑10分、第3号議案、第4号議案、その他を20分、質疑10分をお願い致します。

第1号議案

栗國議長

時間内で審議していきたいと思いますので、皆様ご協力よろしく申し上げます。

第1号議案、第2号議案までを一括審議、一括採決していきたいと思います。よろしく申し上げます。

事業報告：松川会長

平成29年度の事業報告はホームページにも載せていますが、簡単に説明したいと思います（抄録集P99）。日臨技推奨事業と沖臨技事業あるいは重点事業がありますが、そのなかのほとんどが目的を

達成しております。しかし、未達成の事業があり、乳がん啓発講演会、検査・治療などで、次年度に達成していきたいと思っております。

総務部：手登根副会長

永年職務精励者の表彰とありますが（P98）、こちらは平成29年度の表彰者です。平成30年度の方は来年冊子に掲載したいと思っております。総務関係は記載通りではありますが、重要なところだけ述べさせていただきます（P101～102）。平成30年度1月20日に各賞受賞祝賀会と新年会を兼ねて首里のダブルツリーbyヒルトン那覇首里城で行っています。その会の前に各施設の担当責任者の会議を開いています。これは年に1～2回開きますが、その場で色々な情報交換が出来ますので、今後も継続していきたいと思っております。各賞受賞者は松川会長を含め、5名の方々の表彰がありました。検体採取講習会は沖縄県の現在受講率は70数%ほどで、全国でも高い方ではありますが、あと200名ほどは未受講で、是非未だの方は受講するようよろしくお願いいたします。後はご覧のとおりなので省略させていただきます。

渉外部：運天副会長

渉外は毎年やっている行事をやっています（P103～105）。検体採取の講習会ですが、9月16、17日に開催しますので、未だの方は早めに受講してください。6月30日に予定している第10回新人宿泊研修会の締め切りが近づいているので、早めに提出よろしくお願いいたします。細かい内容は冊子に記載しているので、参照してください。

学術部：山城副会長

106～108 ページより抜粋して報告いたします。昨年度の第53回学会は、教育講演、ハンズオンセミナー、実技講習を行い非常に盛況でした。精度管理報告会では沖縄県立中部病院の椎木先生を招きまして、「検査技師の皆さんのための『検査室の外の歩き方』」というタイトルで講演していただきました。学術部門は現在9部門14分野で現在定着しております。学術活動、研修会は75回、学術会議は7回、部門長会議は3回行われています。詳細は冊子でご確認をお願いいたします。

第2号議案

栗國議長

会計監査報告を監事に、会計報告を会計担当理事に報告していただきます。よろしくお願いいたします。

会計監査報告：多和田氏

平成29年度の監査報告を行います（P113）。平成30年4月15日に沖臨技事務所役員、会計担当理事のもとで監査を行いました。事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。その他、財産および損益の状況、重要な点において適切に示しているものと認められます。平成29年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告も同時に行い、定款に従い、公益目的支出計画書の実施状況を正しく示しているものと認めます。以上、監事・名嘉正光、多和田真順。

会計報告：天願理事

平成 29 年度の会計報告をさせていただきます。平成 29 年度収支決算書予算で収入である経常収益計は 10,320,366 円、支出である経常費用計は 10,265,317 円で、当期増減額は 55,049 円の黒字となっております（P109）。予算額と比べ変動が大きかった内容は、会員数増加に伴う会費収入が増額しています。また、沖縄県医学検査学会での広告費や参加者が増えたことによる事業収入も増額となっています。それに対し研究班活動費が減ったことによる助成金収入が減額となりました。費用面では主な出費の減少として分野活動費が 30 万円程減少しています。また消耗品もマイナス 269,000 円だが、これは予算額を大きく設定したためで、実際は前年度より約 18 万円増加となっています。増加の理由として沖臨技のユニフォームを作成したことによります。その他、出費が増加した項目として会議費や旅費交通費が予算額に対して 17 万円程超過しておりますが、前年度に比べ決算額は減少していたため、予算額の設定を低くしたことが原因であったと考えています。貸借対照表で左側が資産、右側が負債となっております（P111）。資産合計が 12,301,186 円、負債が 8,725,776 円、正味財産計が 3,575,410 円です。以上で平成 29 年度の会計報告とさせていただきます。

栗國議長

第 1 号議案、第 2 号議案に関しまして会場よりご質問がありましたら挙手にてお願いいたします。ないようですので、拍手にて承認をしたいと思います。

第 1 号議案、第 2 号議案は議長がその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第 3 号議案

松田議長

第 3 号議案は本年度事業計画・予算案についての審議となっています。執行部から説明宜しく願います。

松川会長

平成 30 年度の事業計画とありますが、私が退陣いたしますので、事業計画ではなくやらなければならないものを統括してまとめたものになります。沖縄県臨床検査技師会主催事業の地域ニューリーダー育成研修会、沖臨技・日臨技共同事業の医療現場における職能向上のための臨床検査議事育成講習会、日臨技企画のがんゲノム医療コーディネーター取得に向けた講習会を活発に推進していきたいと思えます。今後の臨床検査技師の展望とありますが、現状維持から発想の転換と日臨技の会長がすでに述べています。検査室は病院内、クリニック内で仕事をしているという考えがあるが、国や日臨技も在宅医療を推進しており、在宅医療を支える多職種の各役割分担が各市町村に医師会より出ています。看護師あるいは訪問看護師、ケアマネージャー、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、訪問ヘルパー、薬剤師、歯科衛生士、歯科医師等々があるが、臨床検査技師は含まれていません。全国幹事会において会長に意見を求めたが医師は臨床検査技師の立場を理解していないのではないかとということもあり、技師も病棟など外へ出て患者と接しながら検査していかなければならない時代が来ているということである。例えば、輸血の件に関して、受け渡しは検査室

に取りに来てもらっていますが、これからは検査技師が病棟へ出向き、看護師とダブルチェック等を行う時代が来るのではないかと私は確信しています。在宅医療に関して、SMBG、肛門採取、インフルエンザ採取、エコー等で検査室の外の病棟や在宅へ行くような時代がくるのではないかと考えています。実際、臨床検査技師の質の向上、認知度のアップに関して宮島会長が国会議員になって頑張っています。我々も発想の転換というものを持たなければ、臨床検査技師は認知されないのではないかと懸念を抱いております。チーム医療とは言われているが、実際は地域医療連携の役割のなかで臨床検査技師の名前は入っておらず、医師と臨床検査技師の病院内で関わりがなく、アピールをしていかなければならないのではないかと考えています。

手登根副会長

総務からです。組織運営の強化、情報の公開・連絡網の強化、広報活動を重点的に行っていきたいとします。特に、日臨技や九州支部と連携して活動していきたいと考えています。現在会員数 835 名と九州でも 3~4 番目に多く、新人が増えてきている現状があります。まだ非会員の方もいるかとは思いますが、できるだけホームページにて公開して情報がいきわたるよう、共有化を図っていきたいとします。各賞受賞会、新年会も例年 1 月頃に開催しており、若い方も参加できるようによろしくお願いします。検体採取講習会も今年が最後になる可能性もあり、今回は数十名の応募しかないようで、まだの方は是非受講してください。連盟活動ですが、本日も活動しており、宮島会長をバックアップしていくために資金が必要なため、一人一人のご協力が必要となっています。まだ、連盟費を払っていない方は協力をお願いしたいと思います。

運天副会長

渉外は会員相互の親睦や他団体との連携を主にしています。6 月 30 日に新人研修会を予定しており、新人のいる施設は参加させるようにお願いします。なごみ会の県民健康フェアは、8 月 19 日に決定しましたので協力よろしくお願いします。

山城副会長

学術からです。学会の企画のあり方ですが、3 年前から実技講習をいれた企画をしています。非常に盛況で、本日午前中に行われた乳児股関節のエコー、グラム染色にたくさんの方々が参加しており、今後も継続して行っていきたいとします。今年度の運営体制も 9 部門 14 分野で活動していきたいとします。それに加え、沖縄県医師会精度管理調査委員会から実行委員長、副実行委員長も学術の委員として位置付けていきたいと思っております。全国・九州の学会に関しては、冊子で確認していただきたいとします。各研修会ともに、日臨技より毎年 5 万円の助成金・20 研修会を活用しております。昨年度は 8 研修会しか実施できませんでしたが、今年度はすでに 9 つの研修が予定されており、非常に順調です。14 分野で分配して、しっかり研修会を獲得していきたいと思っております。

瀬戸理事

予算案について説明したいと思います (P121~122)。例年と同じような割合で予算を組んでいますが、地域ニューリーダー育成講習会、医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会などが

ありますが、現時点で具体的な計画はされていないため予算書どおりに承認頂いて、実際に計画を進めるといふことであれば、生涯教育事業に事務所の法人会計に40万円ほど余裕があるのでこちらから転用していきたいと思っております。当面は121ページの予算書で承認いただければと思います。

松田議長

第3号議案平成30年度の事業計画、予算案に関しまして会場より質問がありましたら挙手にてお願いいたします。ないようですので、みなさま拍手で承認をお願いします。

第3号議案は議長がその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第4号議案

松田議長

第4号議案は任期満了にともなう、平成30年度・31年度の理事の選任に関する審議となっております。現理事は、本定期総会の終結とともに、任期満了し解任することとなります。新たな理事を選任していきたいと思っております。理事の選任に関して、執行部より説明宜しくをお願いします。

上原氏（役員推薦委員会委員長）

役人推薦委員会、浦添総合病院上原です。役員推薦委員は、豊見城中央病院の大城さん、那覇市立病院の真栄田さん、県立中部病院の古我知さん、中頭病院の瑞慶山さんの5名から成り、2月1日に松川会長より拝命を受けて、委員会をもちまして活動してきました。推薦委員会として5つの基本姿勢をベースに推薦にあたりました。1番目に過去に行われてきた推薦委員会の人選手法を踏まえ、現役員の継続意思の確認をとりました。2番目は現役員に役員継続の強い意志の確認が得られれば、候補者として推薦しました。3番目に原則として積極性、協調性、そして指導力を念頭に入れ、それを十分に考慮し、また現執行部の意見、要望を判断の要素に入れて推薦しました。4番目に過去の推薦方法として取り入れられた地域、施設間のバランス性を考慮されるべきではあるが、実際に人選するにあたっては、それらのことが技師会運営の弊害となつてはならないようにしました。5番目に日臨技において、平成17年に女性部会が設置され、これまで日臨技は提言書を何度も出されており、女性技師の意見が技師会運営に大きな提言になることを見越し、女性技師の推薦を積極的に行いました。以上の基本姿勢を元に、委員会として、その目的のために委員同士で検討を重ね、責務を全うして参りました。今後の組織の維持と会運営が計らえることを祈念しております。

（スライドに新理事、監事を示す；尚、監事は1期4年任期なので今回は継続）

松田議長

選任にあつての報告ありがとうございました。スライドのごとく、現在20名の理事が推薦されております。ご意見等ありましたら、挙手にてお願いします。

長嶺氏

承認の前に、理事の候補者は前に出て、顔を見せてほしいと思っております。

栗國議長

時間の都合のため、新理事の方はその場で起立してください。皆様、お顔を見て確認してください。新理事の方々です。では承認よろしく申し上げます。

理事 手登根 稔
同 瀬戸 司
同 山城 篤
同 安里 光宏
同 川田 勤
同 宮城 和文
同 與那嶺 淳
同 池間 龍也
同 伊波 敬
同 登川 雅子
同 運天 芳浩
同 斎藤 辰好
同 古見 美也子
同 和久井 萌
同 山内 恵
同 仲間 美香
同 宮里 泰山
同 渡口 義克
同 赤嶺 尚子
同 田盛 仁

第4号議案は議長がその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。尚、被選任者は席上その就任を承諾した。

松田議長

只今の承認をもちまして理事20名が決定いたしました。代表理事に関しては定款第21条により、新理事のなかから理事会にて選出されることとなります。以上をもちまして第4号議案を終了したいと思います。最後にその他報告とありますので、執行部よろしく願いいたします。

その他

松川会長

平成27年度臨床検査精度管理調査報告書のCVに関して長嶺氏より適正にされていない、信頼性がな
いとの指摘を受けたので医師会へ持ち帰り報告しました。医師会側より徹底的に調査するよ
うにこのことなので時間を要しましたが、この件に関しまして解析委員の方から、ちゃんとした見解を出した

と思います。そして医師会への報告と各施設への訂正文を出しております。これは冊子に関する問題です。施設には既に正しい報告書が届いていると思います。SDIに関して誤りがあったそうです。詳しくは、指摘当時の解析委員であった宮里さんからよろしくお願いします。

宮里氏

平成 27 年度精度管理解析を担当した宮里と申します。SDI 報告に関して間違っただータの方が皆様手元へ届いてしまい、大変ご迷惑おかけして申し訳なく思っております。修正文の発送もだいぶ遅れてしまったことも重ねてお詫び申し上げます。それを踏まえて、抄録 125 ページにあるように「CV が軒並み 14% に設定されている」「CV が 16~20% は許容範囲を大きく超えている」と長嶺さんより指摘を頂きました。当然のことながらこれはひどいデータではありますが、その場で状況を把握できずに持ち帰って調べたところ、私たちが報告書に書いたデータではありませんので、訂正する必要はないという判断になりました。それでよろしいでしょうか。

長嶺氏

だめです。

宮里氏

そういわれると思ったので、私たちが実際解析を行った原本を皆様に示したいと思います。施設名は伏せてあります。色々な項目が入っており、実際に計算式が入っています。目標値評価が入っていますが、これは日臨技システムから評価を引っ張ってきており、文字として扱っています。皆さんの手元に届いた報告書では、SDI がほぼ 0 に近い値で報告されておりました。どうしてこのようなことがおこったかということを目の前で再現したいと思います。参加施設が多い時はページをまたぐため、エクセルにて行挿入・貼り付け作業を行った際にデータが変わってしまいました。データを印字する際は、PDF 化しなければならないのですが、このような作業によって、おかしな関数が入ってしまい、おかしなデータを出してしまいました。この作業が原因だということがご理解できたと思います。長嶺さんより“改ざん”ではないか、故意による書き換えが行われたのではないかと、それを証明できると指摘をうけました。当時、私が再現できずに、原因がどこにあるかわかりませんでした。自分がやった操作によってデータが変わったことに気づかず、自分の行動そのものがおかしいのではなく、エクセルファイルがおかしいと思っていました。誤ったエクセルファイルがどこにあるのか探して、再現性があるかどうかをトライしてみたのですが、結局 3~4 ヶ月見つけることはできませんでした。その間にデータは疑わしい、故意によるデータの書き換えがあるのではないかと指摘をうけて、そうではないという押し問答が繰り返されてきたという次第です。私たちの解析が“改ざん”されているという勉強会を開いていると思うのですが、2017 年 1 月に沖縄県の公益施設にあたる沖縄県男女共同参画センターにあって、「精度管理データの統計処理によるリテラシー」というタイトルで“改ざん”についての対処ということで、私たちの解析に対して“改ざん”があるという内容の勉強会を開いています。これは沖縄県臨床検査技師会の組織にとっても、沖縄県医師会にとっても重大なことです。“改ざん”が行われているということはとんでもないことです。スライドに“改ざん”の定義について解釈について文献等から引用しているのですが、私たちが長嶺さんに聞きたいのは、どういった意味で“改ざん”という言葉を使っているのかということです。

長嶺氏

まず、スライドの文字が小さくて見えづらく、エクセルの式も見えません。“改ざん”とは故意にデータ

を変えること、あるいは最近では間違えた知識でも“改ざん”といわれています。

宮里氏

長嶺さんはどちらの意味で使っているのですか。

長嶺氏

どちらもそうです。

宮里氏

故意に手を加えたという意味の“改ざん”をつかったのですか。

長嶺氏

その前に、もとのスライドにもどしてください。それがないと話になりません。

宮里氏

おかしいですね。今の情報というのはみなさんも、長嶺さんも今知ったはずです。長嶺さんはそれ以前に“改ざん”ということを知っているわけですから、長嶺さんは説明できると思います。

長嶺氏

私はあなたのデータを使ってやったことを再現できます。

宮里氏

私の言っているのは、“改ざん”であるかどうかを知りたいということです。

松川会長

“改ざん”ということは大変なことです。

長嶺氏

そうです。“改ざん”の話をしましたよね。故意にデータを書き換える。“改ざん”と言ってここまで2回持ち越しています。私は一日で計算できますよ。この話は、去年の9月17日に話しましたよね。議事録に残っていますか。

宮里氏

議事録としてできているかどうかは不明ですが残っています。

長嶺氏

どうして議事録をみんなに公開していないのですか。

宮里氏

長嶺さんが去年この総会場で CV の件を指摘したので、この場で返事するのが適当だと判断しました。

長嶺氏

私に呼びかけるときに、運天副会長より議事録をまわすので見て下さいと言われていましたが、その議事録自体も見えていませんし、その反訳書もみていません。

宮里氏

議事録があるなしと、この議論に接点があるかどうかはわかりませんが、“改ざん”したことを説明しているのであれば、堂々と説明したらいいじゃないですか。

長嶺氏

“改ざん”の決め手は CV が何故あれだけ揃ったのかです。

宮里氏

準備しています。こちらです。

長嶺氏

これは私が証拠として突きつけたものですね。

宮里氏

そうです。私が説明しますので、間違っていたらご指摘をお願いします。CVをご存じでしょうか。私たちが実際に報告書にのせたCVはこちらです。合計3段あります。一番右の段がみなさんの施設に届いた間違ったSDIと一緒に載っていたCVです。もう一方は、長嶺さんが報告書の後ろに載っている全施設のデータを集計して出したCVです。真ん中はだいぶずれているCVです。これはいったいどこから出てきたのか。これは私達がさきほど皆さんの前で見せた間違ったSDIから算出したCVです。間違ったSDから逆算してCVを出すと、間違ったCVが出るのは計算する前からわかっていることです。私どもは、しっかりCVの報告書で正しい式を使っているわけです。検算と同じ値ですね。後ろの巻末の間違った印字を、間違ったSDIをわざわざ使って本来正しく書いているCVまで間違っているというやり方は、非常に悪意に満ちていると私は思いました。

長嶺氏

そういう見解に持っていったわけですね。移動、挿入することによってどうしてSDIがあんなに変わるのですか。

宮里氏

式がおかしくなるからです。

長嶺氏

なぜ式がおかしくなるのですか。その式はいったい何をみているのですか。SDIはSDと平均値と施設のデータ求めます。当然SDをみているはずですよ。

宮里氏

話が逸れて、ごまかされていますね。

長嶺氏

ごまかしているのはあなたです。式の内容を聞いています。「その式の内容をよこしなさい」と私は言いました。

宮里氏

間違ったSDIからわざわざCVを引っ張ってきて16%、17%ですよという姿勢が本当にまともですか。この期におよんでまだ言い張るのは悪意があると感じております。私の考える“改ざん”とはどういったものなのかというのを示したいと思います。せつかく来て頂いているので、色々教えていただきたいことがあります。過去の精度管理統計において、参加施設の生データを変えたことがありますか。

長嶺氏

生データに手を加えたことがあるかですね。ありますよ。手を加えられたこともあります。松川会長言ってもいいでしょうか。

松川会長

どうぞ。

長嶺氏

ある施設がデータを送ってきて集計しようとしたところ、明らかに生化学のデータはすべて違うことに気づいて、施設の担当者に電話で確認をとりました。そのために電話がありますよね。確認したと

ころ、データはあたっていますとの回答があったのでそのまま直さずに、明らかに間違っているので省こうと思っていました。本来なら多少違っていてもトライします。そして省きます。しかし、どうしても他の施設に影響があるので、省こうと思い電話連絡しました。しかし、その方は解らなかった。その後、手登根さんより連絡があり、ミスがあったため、困るのでデータを差し替えてもらえませんかという依頼でした。全データを送ってきましたが、差し替えませんでした。メールには技師長さんが間違えて過去の年度のデータを送ってしまっていたとありました。その日の夜に、大城さんから他の部署は全員みんな書き換えたので、生化学も差し替えるようにお願いしますとメールが来ました。ある施設の技師長さんが2年前の間違ったデータを送り、正確な評価が出来ないので、差し替えてくれと言われ、みんな書き換えました。どうしますか。

宮里氏

私なら差し替えません。最初にデータがおかしいとって施設に連絡をとる理由がおかしいです。日本医師会や日臨技の精度管理に参加している施設が多数あると思いますが、その際に、データがおかしいと連絡きたことはありますでしょうか。

長嶺氏

私は差し替えたくなかったが、みんな差し替えたからとってやってくれと、手登根さんや大城さんに言われました。

宮里氏

データの悪い施設に事前に連絡した目的はなんですか。

長嶺氏

外す（省く）かどうかの判断をするためです。

宮里氏

外す（省く）かどうかの判断を参加施設に委ねるのですか。他のデータの悪い施設には連絡しましたか。

長嶺氏

他のデータの悪い施設には連絡していません。なぜ連絡するのですか。

宮里氏

公平性という観点からです。

長嶺氏

これは目でみて明らかにおかしいとわかるから確認のために連絡するのです。皆さんはしませんか。

宮里氏

やるわけありません。

長嶺氏

では、みなさんはなぜ書き換えたのですか。

宮里氏

ご自身のやっていることに対する基準と、私に対する非難の基準がまったく違うように感じるのですが、違和感があるのは私だけでしょうか。会場にいるみなさんもそうだと思います。やっていることは100%“改ざん”で情状酌量してくれという意味だと思います。

長嶺氏

松川会長

CVが正しいかどうか聞いています。調査しなさいと指示がでているので、報告しなければなりません。

長嶺氏

あのSDIからすればこのCVになります。とんでもないCVです。具体的にいうとあなた方がやったことは、平均値が140でデータが120でもA評価になります。

宮里氏

あなたのその姿勢はまったく悪意に満ちているという判断です。間違ったSDIから算出すれば当然ながら、CVが間違というのは係数がまちがっているので、17%、20%、30%だろうが大幅にずれるというのはわかっております。それをあたかも私達解析委員が出したCVだというふうに昨年度おっしゃっている。

長嶺氏

私は証拠を提出しました。あなたたちのCVがどうのこうのではなく、CVがああなったのでおかしいと、故意にやったのではないかという証拠を示したのです。それが私のまちがいというのはおかしいです。

栗國議長

その他の議案に関して、間違いはあった、起きてしまったという事実は認識してもらって、間違いは素直に謝らなければならないです。すごく細かい話は皆さんも聞いてあまりわからないと思います。しっかり話をしているかとは思いますが、お互い納得はいかないとは思いますが。みなさんは間違いがあったということは承知していただいてこの場を終えたいと思います。

屋嘉比氏

一ついいでしょうか。

栗國議長

時間がないので、30秒でお願いします。

屋嘉比氏

はい。宮里さんが長嶺さんに対して、手登根さんや精度管理担当者から依頼されて差し替えたことについて“改ざん”だと言っていますが、その指示した人についてはどう考えていますか。長嶺さん自身はデータには手を加えていない、あなたがやったこととは違うということ。宮里さんが色々説明していましたが、去年の9月にした理事の方も参加していた話し合いに私も参加しましたが、そのなかで言っていることは二転三転していました。当初、式をコピー&ペーストしたので式が変わってしまいました。「その計算式を送ります」と言っていましたが、送ってきませんでした。そして今年の2月の精度管理報告会の後では、今日のような話をしていました。

宮里氏

屋嘉比さん。まず1つめの問いですが、長嶺さんは差し替え指示されたことについてどう思うかですか。

屋嘉比氏

指示した人の事です。そしてそれは技師会のほうですよ。その精度管理のなかでどういう方向性でいこうかという話し合いはされたことはあるのでしょうか。

宮里氏

非常に憤りがありますが、自分で今からでも間に合いますというようなスタンスで電話をしておいて、今頃になって、いかにも受け身で、受動的な態度をとると。もしそうであるならばあの時に公表すればよかったのです。別件ですが、データに手を加えたのはこれ1回だけですか。

長嶺氏

大城さんから連絡があったし、手登根さんから連絡ありました。

宮里氏

私が言っているのは、それとは別件です。

長嶺氏

手登根さんはっきり言ってください。直接聞きたいです。

手登根副会長

はっきり覚えてはいませんが、そういうことがあったかもしれません。過去に“改ざん”というよりも単純ミスで間違えたからということですが、それも“改ざん”になるかもしれません。

宮里氏

屋嘉比さん。私と長嶺さんからの違いは、中身のデータに手を加えているとおっしゃっていますが、今でも“改ざん”しているとの解釈でよろしいですか。

屋嘉比氏

“改ざん”の定義をご覧になっていると思いますが、間違っって入れた、誤植いうことを今回使っていますが、それ自体が“改ざん”に該当する、あるいはエクセルの知識がなくてそういう風にミスをした。

宮里氏

屋嘉比さんの認識は、どちらでしょうか。

松田議長

この後、特別講演も控え、時間がありませんので、ここで切りたいと思います。

長嶺氏

先ほどスライドにしたものを私に見せてください。

宮里氏

長嶺さんからもらったものです。

松川会長

長嶺さんが計算したデータを医師会の方に提出してもらえないでしょうか。

長嶺氏

いいですよ。調査報告書を書きましたので、最悪それを提出したいと思います。

松田議長

それでは今回技師会側に SDI の間違いがあったことは認識していただいて、この場を閉めさせていただきたいと思います。これを持ちまして第 1 号議案～第 4 号議案の審議を終了致します。また、資格審査員、議事運営委員、書記の総会役員を解任したいと思います。ご協力ありがとうございました。

その他議案は議長がその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べた。

(執行部として、その他の議案の中で述べる予定であった連盟役員交代と、新しい学術委員紹介の事項を時間超過のため省く形となった)

閉会の挨拶：運天副会長

定期総会の最後の方は、会場から色々な意見があり、時間が足りなかったのですが、おかげをお持ちまして執行部から出された議案は承認していただいたと思います。本当にありがとうございました。今後とも、技師会活動へのご協力、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

司会は、以上をもって本日の総会を終了した旨を述べ、午後 2 時 25 分に閉会した。

議事録作成者：山内 恵、古見 美也子